

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 13日

事業所名 通所 ひばり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> 法令を遵守したスペースを確保している 活動内容や対象者によってパーティションなどで区切り空間づくりを行っている 感染対策を含めてスペースを確保している
	2	職員の配置数は適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> 配置基準は満たしている 安全面に配慮し必要時応援体制あり
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 声かけと同時に具体物を使って伝えることあり 歩行器で歩けるように環境を整えている 引き続き、利用者に応じた配慮を適宜整えて対応していく バリアフリー化されている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の掃除、利用後の掃除を毎回行っている 利用毎の消毒、清掃を行っている 環境整備を行い清潔な空間を心掛けている。体調に合わせた空調調整も行っている 感染対策を考慮した環境整備を行っている 季節に合わせた装飾を行っている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 事業計画をもとにアクションプランを立案し、共通認識を持ちながら実践、評価している
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の評価・意向については管理者とともに定例会議の議題にあげ検討している 保護者からの相談内容はスタッフ間で共有し、対応策を検討している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ホームページに公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	<ul style="list-style-type: none"> 施設本体も含め未実施 今後の検討事項としている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 機会があれば積極的に参加している 施設内の研修参加、外部ではオンラインでの研修参加をしている 院内、院外の研修機会あり。参加できない場合は動画視聴できる
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月毎に評価(アセスメント)を行い、更新時アセスメントをもとに計画を立案している
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 対象が重症心身障害児のみのため認知行動のアセスメントツールは使用していない 個別的にアセスメントしている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに沿って支援内容を設定し、具体的な内容となるように支援会議で検討している
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 計画に沿った支援を心掛けている 他職種とも協力し支援できるよう努力している
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ミーティングで共通認識を図っている 保育士が主となり立案しチーム全体で検討して共通認識を持っている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
な 支 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 出来るだけ個々の成長に合わせたプログラムになるように工夫している 多職種の協力のもとアイデアを出し合い行っている 成長や状態の変化などにより検討して行っている 利用者の状態にあったものになるよう定期的に検討している 季節の行事を取り入れ様々な内容になるよう工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 個人で伸ばせる部分、集団で伸ばせる部分があることを理解し計画に取り入れることが出来ている 集団活動の中でも個々に応じて個別活動を取り入れたりすることもある 安全に配慮しながら可能な限り両方を組み合わせている 個々の特性に応じて作成している
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 仕事開始時、全体でミーティングを行い確認できている 大きなイベント、行事の時は事前に細かく打ち合わせを行っている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> その日が無理な場合は翌日に気付いた所などスタッフ間で話し共有できている 大きなイベント、行事の後にも行っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 毎回記録をし、評価できるようにしている 利用時間以外のことでも、必要時記録に残し検証、改善につなげている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月に1回以上モニタリングを実施している
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> サビ児管が参加している
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 保育園と連携し情報交換、共有し支援を行っている サビ児管が参画している
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 併設施設の地域連携室のソーシャルワーカーとの協力体制も充実している 担当者会議への参加や保育園との意見交換など行っている 医療ケア指示書あり。必要時は情報収集、共有している
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 併設施設の地域連携室のソーシャルワーカーとの協力体制も充実している 医師指示書をもとに、医療ケアを行うことが出来ている(緊急時対応も含む) 緊急時の対応については事前にモニタリングで確認している かかりつけ病院は一覧表でまとめている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 必要時は関係機関、保護者と情報共有している 保育所1名あり。連携している
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 必要時関係機関、保護者と情報共有している 就学1名。連携している
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議などで他事業所と情報共有している 自立支援協議会への参加
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	<ul style="list-style-type: none"> コロナは落ち着いてきたが交流の機会をもていないため保護者の要望を伺いながら検討していく 今後の課題である
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> サビ児管が可能な限り参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 面談時や送迎時に伝達し情報の共有やご家族の悩みなどを聴き共通理解をはかっている 連絡帳を活用している

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・重症児が対象なので一律のプログラムでの支援ではなく個別に家族支援を行っている ・家族の交流を親子レクリエーションを通して行った
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に行い、不明な点は随時説明している
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・説明はサビ児管が行っている。同意を得てから計画に基づいての支援を行っている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・送迎時などに必要に応じて対応している ・連絡帳やお迎えの時などを利用し情報の共有や保護者の悩みなどを聴き共通理解を行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・父母の会は存在しないが親子レクリエーションを行い保護者の交流の場を設けた
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・できるだけ迅速に対応できるように努力している ・スタッフと相談し適切な対応をするようにしている ・安全を確保したうえで受け入れ体制をとるようにしている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・年2回通信を発行している ・可能な範囲で行事の写真をお渡ししている
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・通信などの写真や作品展示などの名前の表記についても、同意の有無を確認している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・視覚情報など個々に応じて対応している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・地域との交流はコロナ禍もあり実施できていない ・今後の課題である
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・防犯マニュアルについてはあらゆるシチュエーションに応じたマニュアルは必要と考える ・定期的に訓練を行い、マニュアルを改正している
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・火災、地震の災害時の対応シミュレーションを実施している ・定期的に行い、マニュアルを見直し、共有している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・面談時や受診後に確認している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・面談時にアレルギーの有無、内容を確認したうえで食事提供している ・食事の提供時、メニューと食札で確認している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・報告書の提示と定期会議での内容を確認、共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・施設内で研修に参加 ・自己評価アンケートの実施
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束適正化委員会にて検討している ・計画書にもとづき保護者へ説明、同意を得て実施している ・6か月に1回毎の再検討会議を開催し、拘束の解除に向けた検討を実施している